

2024年1月

## 修正のお知らせ

従来、用語の統一がなされておらず、混乱を生じておりました「足の運動」について2022年4月に、日本足の外科学会、日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会より「関節可動域表示ならびに測定法改訂について」（別紙）が提示されました。これに則り、拙著「イラスト解剖学 第10版」p38の「わかりにくい足の運動」の表記を以下の通り修正いたします。

松村讓兒

### 主な変更点（「関節可動域表示ならびに測定法改訂について」より抜粋）

#### 1. 足関節・足部における「外がえしと内がえし」および「回外と回内」の定義

**外がえしと内がえし：**足関節・足部に関する前額面の運動で、足底が外方を向く動きが外がえし、足底が内方を向く動きが内がえしである。

**回外と回内：**底屈，内転，内がえしからなる複合運動が回外、背屈，外転，外がえしからなる複合運動が回内である。母趾・趾に関しては、前額面における運動で、母趾・趾の軸を中心にして趾腹が内方を向く動きが回外、趾腹が外方を向く動きが回内である。

#### 2. 足関節・足部に関する矢状面の運動の用語

**背屈と底屈：**足背への動きを背屈、足底への動きを底屈とし、屈曲と伸展は使用しないこととする。ただし、母趾・趾に関しては、足底への動きが屈曲、足背への動きが伸展である。

#### 3. 足関節・足部の内転・外転運動の基本軸と移動軸

**基本軸：**第2中足骨長軸とする。

